

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-217348

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月10日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
C 0 7 C 45/64		C 0 7 C 45/64
B 0 1 J 31/02	1 0 3	B 0 1 J 31/02 1 0 3 X
C 0 7 C 45/65		C 0 7 C 45/65
49/747		49/747
// C 0 7 B 61/00	3 0 0	C 0 7 B 61/00 3 0 0
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 21 頁)		

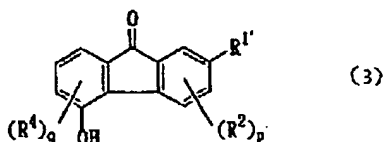
(21) 出願番号	特願平10-293239	(71) 出願人	000206956 大塚製薬株式会社 東京都千代田区神田司町2丁目9番地
(22) 出願日	平成10年(1998)10月15日	(72) 発明者	安藝 晋治 徳島県板野郡板野町下庄字栖養173番地の1
(31) 優先権主張番号	特願平9-282096	(72) 発明者	原口 佳和 徳島県徳島市川内町加賀須野463番地の30
(32) 優先日	平9(1997)10月15日	(72) 発明者	利根 斉 徳島県板野郡松茂町広島字二番越8番地 秦野マンション311
(33) 優先権主張国	日本 (J P)	(74) 代理人	弁理士 三枝 英二 (外10名)
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 フルオレノン誘導体の製造法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】工業的に安全・簡便に、穏和な条件下に、煩雑な分離手段なく、高収率、高純度でフルオレノン誘導体を製造する方法を提供する。

【解決手段】ビフェニル誘導体をメタンスルホン酸の存在下に環化し、得られるフルオレノン誘導体を脱アルキル化する一般式3のフルオレノン誘導体の製造方法。



一般式3の化合物の具体例には2, 5-ジヒドロキシ-1, 3, 6, 8-テトラピロビル-9-フルオレノンがある。